

自然に学び自然を守る



農林水産省登録
第22940号

田植同時はやっぱり

水稲用 初・中期一発処理除草剤

パワーウルク

1キロ粒剤51

復活



少量化で省力化。



水稲用 初・中期一発除草剤

農林水産省登録 第22940号

パワーウルコ[®] 1キロ粒剤51

有効成分：プロモブチド・・・9.0%
ベンスルフロンメチル・・・0.51%
ベンチオカーブ・・・15.0%
メフェナセット・・・3.0%
毒性：普通物
(毒劇物に該当しないものを指している通称)

特長

1 田植同時で 楽々

2 幅広い種類の 雑草に効く 一発除草剤

3 SU剤抵抗性 ホタルイ、コナギに 高い効果

4 水稲に対する 安全性が高い

適用病害の範囲及び使用方法

2020年9月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ベンチオカーブを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ ヘラオモダカ、オモダカ、クログワイ コウキヤガラ、ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg/10a	1回	田植同時 散布機で 施用	1回
		移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで			湛水散布	
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前まで				2回以内 (入水前は1回以内、 入水後は1回以内)
プロモブチドを含む農薬の総使用回数		ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数		メフェナセットを含む農薬の総使用回数		
2回以内		2回以内		2回以内		

⚠ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失ないように散布してください。尚、多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。
- ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリは2葉期まで、ヘラオモダカは発生前まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さないため、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 苗の植付けが均一となるように代かき及び植付作業は丁寧にしてください。未熟有機物を施用した場合は、特に丁寧に行ってください。
- 散布の際は、水の出入りをとめて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保ち、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 下記のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用を避けてください。
 - ① 砂質土壌の水田、漏水田(減水深2cm/日以上)
 - ② 軟弱苗を移植した水田
 - ③ 極端な浅植の水田および浮き苗の多い水田
 - ④ 未熟有機物多用田、透水不良田などの強還元田
- 直播水稲に使用する場合は下記に注意してください。
 - ① 発芽直後の稲に対して薬害のおそれがあるので、適正な覆土を行い、稲の1葉期以降に散布してください。
 - ② 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用を避けてください。
 - ③ 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。

- 本剤を使用した水田では中干しを必ず行ってください。なお、わい化などの薬害症状が観察された場合にはできるだけ早く落水、中干しなどの処理をとってください。
- 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用を避けてください。
- 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 本剤を散布した水田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤は移植前に生育したミスガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用してください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 誤食などのないように注意してください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、散布の際は保護メガネを着用して薬剤が眼に入らないように注意してください。
- 眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 散布機具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

本資料は2020年9月現在の知見に基づき作成しております。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ● 防除日誌に記帳しましょう。